

2025年度 環境イベント参加報告

整理番号: 20250906

事業名	環境教育およびエコロジカルライフを実践するための講座開催事業																																																																				
活動名	浜松市環境部一般廃棄物対策課主催「ごみ減量 チャレンジDAY」ワークショップ開催																																																																				
担当者	高根 美保	主催団体	NPO法人エコライフはままつ																																																																		
事業区分	講師派遣	事業サイクル	継続事業																																																																		
活動の目的																																																																					
ごみ減量（雑がみアート展、環境マークを知る）																																																																					
実施内容																																																																					
活動日時	2024年8月22日（木）11:00～15:00																																																																				
活動場所	可美公園ホール（浜松市中央区増楽町920-2）																																																																				
活動者名	村河善信、外村潤一、高根侑美、高根美保																																																																				
詳細	・雑がみを知る ・環境マークを知る																																																																				
事業の成果	参加者 およそ240名 配布物・紙容器リサイクルメモ帳40冊、雑がみクリアファイル40枚、雑がみマグネット50個（希望者のみに配布） ＜様子＞ ・雑がみゲーム「ソリティア」「道をつくる」が大人気でした。 ・「道をつくる」では、障害物1個ではなく2個にすることで達成することが出来ました。 ・「ソリティア」は、多くの方が挑戦しましたが達成できた方はいませんでした。 ・環境マークは、親子で学ぶ姿が見られました。 ＜参加者の声＞ ・雑がみ作品の「作り方」が欲しい。自宅で作ってみたい。 人気の作品「ピストル・鬼滅の刃 籠の中の禰豆子」 ・紙のゲームが意外に楽しい。 達成できないのが悔しい。 ・環境マークについて初めて知った。 ・マークに意味があることに驚いた。 ・商品を選ぶ基準ができた。 ・買い物に行く時の目安ができた。 ・カップ麺は、悪者だと思っていたが環境配慮されている商品があることが分かった。 ・ごみを減らす。この行動には選択肢があることが分かった。 ・ごみ箱に入れるごみを減らす行動の前に考える必要があると思った。 ・企業の取り組みをもっと知りたいと思った。 <table><tr><td colspan="11">環境マークをいくつ知っている？</td></tr><tr><td></td><td>1個</td><td>2個</td><td>3個</td><td>4個</td><td>5個</td><td>6個</td><td>7個</td><td>8個</td><td>9個以上</td><td>合計</td></tr><tr><td>子ども</td><td>1人</td><td>1人</td><td></td><td>4人</td><td>1人</td><td>1人</td><td></td><td>9人</td><td>3人</td><td>20人</td></tr><tr><td>女</td><td></td><td></td><td></td><td>2人</td><td>2人</td><td>1人</td><td>3人</td><td>3人</td><td>7人</td><td>18人</td></tr><tr><td>男</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1人</td><td></td><td></td><td>4人</td><td>5人</td></tr><tr><td>合計</td><td>1人</td><td>1人</td><td>0人</td><td>6人</td><td>3人</td><td>3人</td><td>3人</td><td>12人</td><td>14人</td><td>43人</td></tr></table>			環境マークをいくつ知っている？												1個	2個	3個	4個	5個	6個	7個	8個	9個以上	合計	子ども	1人	1人		4人	1人	1人		9人	3人	20人	女				2人	2人	1人	3人	3人	7人	18人	男						1人			4人	5人	合計	1人	1人	0人	6人	3人	3人	3人	12人	14人	43人
環境マークをいくつ知っている？																																																																					
	1個	2個	3個	4個	5個	6個	7個	8個	9個以上	合計																																																											
子ども	1人	1人		4人	1人	1人		9人	3人	20人																																																											
女				2人	2人	1人	3人	3人	7人	18人																																																											
男						1人			4人	5人																																																											
合計	1人	1人	0人	6人	3人	3人	3人	12人	14人	43人																																																											
事業の課題	・商品パッケージには、様々な情報が書かれていることを知らない。分からない。と回答する市民が多かった。イベント等を通じて市民一人ひとりの意識を高める必要がある。 ・イベント参加時に市民に何かしら課題を与えて達成する成功体験が必要だと感じた。																																																																				

